

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01547小清水町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01000北海道	③学校と家庭の課題	03 読書習慣の定着・読書体験の充実	日常的な読書週間がない児童生徒が増えており、余暇活動の中でもスマホ利用やゲーム等、読書以外の時間が長くなっている。魅力的な図書を紹介し、読み聞かせ活動を充実させ、読書習慣の定着を目指したい。	読書ボランティアが中心となり、年間に数回、読み聞かせの体験活動を実施している。	・小学校の保護者を中心に10名程度の読書ボランティアスタッフを募集し、年間3回の前項読み聞かせを行う。 ・読み聞かせ動画を作成し、全学級で児童に視聴していただく。	図書館や図書室の利用が増加し、日常の読書週間で定着した児童が増える。	児童の本への興味関心を図るため本を10冊以上もっている児童の割合(小学6年)全国学力学習状況調査	75	%	85%	92%	4年本 年度の 目標値を 上回り、 課題の 解決に 向けて 大きな 成果が 見られ ている と分析 する。 今後についても同様の事業を継続し、数値が下回ることがないよう引き続き注視していく。また、次年度については図書を 持っている割合から違う角度で「1日あたりの読書時間」について、目標値を達成できるよう進めていく。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。